

# 知的財産権論

選 択

開講年次：3年次前期

科目区分：講 義

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**:知的財産、知的財産権について、歴史的な経緯や制度の変遷を踏まえて、その現代的意義を解説するとともに、情報経済の主要な資産となる知的財産と、情報社会を支える知的財産権制度についてマクロ的観点から理解を深める。ソフトウェア特許やデジタル著作権等の重要事項、それらを取り巻くさまざまな事項についても考察する。特にこの講義では、机上の理論ではなく、実社会においてデザインやコンテンツといった知的財産がどのように活かされ、富を生んでいるかを実態として学ぶことを主眼とし、その分野の経済人を講師として、実際のデザインビジネスやコンテンツビジネスがどう動いているのかをお話しいただく。

■**到達目標**：①知的財産とは何かを説明できる。  
②コンテンツビジネスなど実社会で知的財産がどのように活用されているかを具体的に説明できる。  
③将来の仕事と知的財産との関係を説明できる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎渡邊 泰帥・奥富 圭一・久保 雅一・濱口 英樹・安河内 正文・吉田 孝次

■**授業計画・内容**：

- 第1回 【4月6日 4講目】(弁理士 渡邊 泰帥)  
・オリエンテーション
- 第2～3回 【4月20日 4・5講目】(弁理士 渡邊 泰帥)  
・「知的財産権概論1」
- 第4～5回 【5月11日 4・5講目】(弁理士 渡邊 泰帥)  
・「知的財産権概論2」
- 第6～7回 【5月25日 4・5講目】(フリーライター・ラジオパーソナリティ 濱口 英樹)  
・「広告会社における知財ビジネス」
- 第8～9回 【6月8日 4・5講目】(株式会社小学館 取締役 国際メディア担当 久保 雅一)  
・「デジタル世代における映像プロデューサー概論(仮題)」
- 第10～11回 【6月22日 4・5講目】(ルミノフ株式会社 代表取締役社長 吉田 孝次)  
・「デザインで起業」
- 第12～13回 【7月6日 4・5講目】(アサヒグループ食品株式会社 企画本部 人事総務部 兼 経営企画部 担当副部長 奥富 圭一)  
・「食品業界の知財 ～知財ミックスの観点から～」
- 第14～15回 【7月20日 4・5講目】(エイツーシグマ株式会社 代表取締役 安河内 正文)  
・「なぜ、いまデザインと知財なのか」

■**教科書**：適宜資料を配布します。図書についてはオリエンテーションで紹介します。

■**参考文献**：適宜資料を配布します。図書についてはオリエンテーションで紹介します。

■**成績評価基準と方法**：出席／授業態度／レポートで評価します。

| 評価方法 | 到達目標  |       |       | 評価基準     | 評価割合 (%)   |
|------|-------|-------|-------|----------|------------|
|      | 到達目標① | 到達目標② | 到達目標③ |          |            |
| レポート |       |       | ◎     | 最終レポート   | 50         |
| 授業態度 | ○     | ○     |       | 積極的な姿勢   | 10         |
| 出席   | ○     | ○     |       | 2/3以上の出席 | 40<br>欠格条件 |

■**関連科目**：特になし

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：弁理士の先生から知的財産権に関する基礎知識を講義の後、東京から現役のビジネスパーソンをお招きし、ゲストスピーカーとして知的財産を「経営」という視点から講義いたします。普段なかなか聞けない話なので積極的な受講を期待しています。